

金沢21世紀美術館9月のプログラム

9
2013

2013年9月に実施される金沢21世紀美術館主催事業についてお知らせいたします。

各催しの告知ならびに当日のご取材など、ぜひ貴媒体にて報道して頂きたくお願い申し上げます。

各事業の詳細につきましては決まり次第随時お知らせいたします。

9月からオープンする展覧会と関連イベント



ボーダーライン コレクション展II

9月28日(土)～
2014年3月16日(日)

未知のものに出会うときに感じる違和感、不安、恐怖。それは、ある種の境界がそこにあることを感じ取っているサインです。私たちは共通の言語、身体的特徴、ルール、記憶を持つ人々を「内部」として、それに当てはまらない「外部」を知らず知らずのうちに区別し、内と外を分かち境界を形成しています。境界は安全な内部を脅かす存在として時に外部を排除し、軋轢を生み出すが、同時に、内部と外部が交渉しながら新しいルールを見つけ出し、絶えず更新される流動的なものでもあります。つまり、境界は内部を広げる可能性を秘めた領域であるということができるのではないのでしょうか。

今年度のコレクション展は、このような視点に立って、境界を「分断するもの」から「繋がり、広げるもの」として捉え直そうとするものです。「ボーダーライン コレクション展I」では、私たちにとって一番身近な身体を基本に据え、境界の存在を意識し、内と外の関係を考察しました。「ボーダーライン コレクション展II」ではそれを社会的な境界へと広げ、当館コレクション作品を展観します。

本展では、8作家の表現を通して、自己と他者、自分が属する集団とそれ以外の集団、私的領域と公的領域、国境、民族、ジェンダーなど、人間の意識が作り出したさまざまな境界に時に立ち向かい、時に横断しながら、境界を介して外部と接することで自己という内部の領域を拡張していこうとする人間の可能性を探ります。

開催中の展覧会と関連イベント

島袋道浩
能登

2013.4.27.SAT.～
2014.3.2.SUN.

島袋道浩:能登

開催中～
2014年3月2日(日)

本プログラムは、前期に能登地域の調査を行った後、後期に新作展時を行うものです。

9月28日(土)より後期展示がスタートします。

以降、展示室13への入場には、当日の「コレクション展II」の観覧券が必要です。

プレスガイダンス

日時=9月27日(金)13:30～15:00(受付は総合案内にて13:00より) 場所=金沢21世紀美術館レクチャーホール

内容(予定)=館長挨拶、担当学芸員概要説明、ギャラリートツアー、質疑応答

※また下記のとおり内覧会、レセプションを行いますので、あわせてご参加ください。

内覧会=17:00～19:00/レセプション=18:00～19:00

島袋道浩 アーティスト・トーク

日時=2013年9月28日(土) 14:00～15:30

会場=金沢21世紀美術館レクチャーホール

料金=無料 定員=先着90名

アーティスト、担当キュレーターインタビュー

アーティスト島袋道浩と担当キュレーター鷺田めるるのインタビューを当館ウェブサイト、本展詳細ページにてご覧いただけます。ウェブサイトをご覧ください。 <http://www.kanazawa21.jp>

本資料に関する
お問い合わせ

金沢21世紀美術館 広報担当: 落合・中山
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp>
E-mail: press@kanazawa21.jp





フィオナ・タン | エリプシス

開催中～
11月10日(日)

フィオナ・タンは1966年、インドネシア・ブカンバル(スマトラ島)生まれ、現在アムステルダム在住の映像作家です。中国系の父とオーストラリア人の母を持ち、少女時代をオーストラリアで過ごした後にヨーロッパに移り住んだという経歴から、多様な文化圏を往来しながら、その複雑さや多層性を自らの内に認める作家でもあります。

展覧会「フィオナ・タン | エリプシス」では、初期を代表する《Linnaeus' Flower Clock(リンネの花時計)》(1998)(金沢21世紀美術館蔵)から近作《Rise and Fall(ライズ・アンド・フォール)》(2009)、《Seven(セブン)》(2011)まで、映像、写真、インスタレーション作品を紹介し、不連続な時間軸上を行き交う視線や声が共鳴する詩的で静謐な表現を展観するものです。



イザベル&アルフレド・アキリザン 「住む:プロジェクト—もうひとつの国」

開催中～
11月10日(日)

イザベル&アルフレド・アキリザンによる《In-Habit(住む)》は、生産—消費の流れを示すダンボールを使って作る「家」を積み上げた、壮大なインスタレーション作品です。本作品は、ボルネオ島サバ州海岸部一帯を拠点にして暮らすバジャウ族の人々を参照しています。バジャウ族は船上または海の浅瀬に高床式住居を構え、一生を海の上で暮らす漂海民ですが、グローバル化の波を受けて、近年その暮らしに変化が見られるとされています。アキリザンはバジャウ族を通してアジアの現状を俯瞰し、経済的かつ文化的グローバリゼーションによって支えられている価値観が、画一化の危険性を拡張しているという現実に向き合いながら、急速な世界情勢の変化に対して、個々人が直面する問題を共に考える場を提案し続けています。今回の金沢でのプロジェクトは、地域の人々がバジャウ族の人々の暮らしに思いをはせながらダンボールで家を作り、それらが作品の一部として展示されます。

バジャウの人々の暮らしを想像して、アキリザンたちが建てた村に家をプレゼントしよう！

ダンボールを使って家を作ります。出来上がった家は、後日作品の一部に付け加えられます。

日時=8月4日(日)～11月10日(日)の日曜日 13:00～16:00

会場=金沢21世紀美術館 展示室6内 料金=無料(ただし、本展観覧券が必要)

※詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。



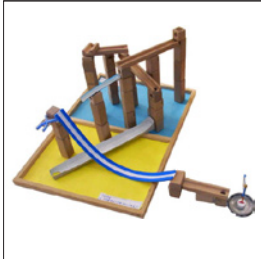
フィロソフィカル・ファッション 2: アンリアルエイジ ア カラー アン カラー ANREALAGE "A COLOR UN COLOR"

開催中～
11月24日(日)

目まぐるしく移り変わる流行、それを支えるファストファッションの隆盛が顕著な今、衣服の意味を問い直し、一貫したコンセプトでファッションを提案するクリエイターを紹介するシリーズ「フィロソフィカル・ファッション」。第二弾では、身体や衣服への独自の考察から生まれるコンセプチュアルなデザインと、細部まで徹底的にこだわったものづくりで注目されるファッション・ブランド「ANREALAGE(アンリアルエイジ)」を紹介します。

これまで「かたち」を解体してきたアンリアルエイジが、本展では「色」を追求。5000着もの白い服とともに、太陽光で色を変える特殊染料を用いた服を展示し、流行のなかで移りゆく「色」について問いかけます。

9月のキッズスタジオ・プログラム



ハンズオン・まるびい!

子どもも大人もいっしょに楽しめるスペースです。
いろいろな造形遊びで、工夫と発見を楽しもう!

プレイルーム

日時=9月1日(日)、7日(土)、8日(日)、15日(日)、16日(月祝)、23日(月祝)、28日(土)、29日(日)
13:00~16:00(自由入場)

※14日はワークショップ、21日22日は中学生まるびいアートスクールのためお休みとなります。

場所=キッズスタジオ

対象=子どもから大人まで(小さなお子さんは保護者同伴) 料金=無料

(下はプログラムの例です。内容は日によって変わります。)

かたちで遊ぼう!

積み木やボタンや毛糸やいろいろ、つんだりならべたりしよう。

木くずで作ろう! 新種ミノムシ(中旬以降予定)

木くずをくっつけて新しい生きものを作ろう。

「素材と遊ぶ」シリーズ2013 「林一平/木と遊ぼう」

丸太で家の守り神を作ろう!

木の丸太を使って、大切な家の守り神を作ってみませんか?

切ったり、削ったり、彫ったり、あなたの思いを木に込めて、大切な家を守ってくれる「守り神」を作りましょう!
形にこだわらない、自由な発想で作った守り神を家に置いてみませんか?

日時=9月7日(土) 13:00~16:00/9月8日(日) 10:00~16:00 ※2日間連続

会場=プロジェクト工房 アーティスト=林一平

対象=中学生以上 定員=先着10名 料金=3000円

持ちもの=タオル、お茶、昼食(8日のみ)、木工具(のみ、やすりなどあれば)

「木と遊ぶ」小学生ワークショップ「木の帽子を作ろう!」

うすい木の板を使って、帽子を作ってみませんか?

いろいろな木の色や香り、肌触りを体験しながら、木をつないだり、曲げたり、編んだり、貼ったり…自由な発想で、あなただけのかぶりものを作りましょう! トンガった帽子 ティアラのような帽子 王冠 どんな帽子ができるかなあ?

日時=9月14日(土) 13:00~16:00

会場=キッズスタジオ 対象=小学3年生~6年生 定員=先着10名

料金=500円 持ちもの=タオル、お茶



親子向け情報・休憩スペース

「まるびい・すくすくステーション」

小さいお子様連れの方をサポートするスペースです。お子様と一緒に美術館で見て・感じて・楽しむ時間をお手伝いできるように、館内のおすすめスポットやプログラム、託児室などの情報をご用意しています。一休みするスポットやお散歩の寄り道としても、ぜひご利用ください。

開催日=9月3日(火)~12月19日(木)までの毎週火木 10:00~12:30(自由入場)

※9月17日(火)、24日(火)、10月15日(火)、11月5日(火)は休場です。

会場=キッズスタジオ

対象=未就学児とその保護者 料金=無料

◎「すくすくプログラム」

毎週木曜日10:30~(各30分程度)

館内散歩、紙あそび、絵本とわらべうたなどのミニプログラムを行います。

9月のステージ/イベントプログラム



日本ヌーヴェルヴァーグ
の極意 2013.9.14-9.16

映画の極意vol.14 日本ヌーヴェルヴァーグの極意

9月14日(土)～
9月16日(月祝)
シアター21

ヌーヴェルヴァーグとは「新しい波」。ヨーロッパ、特にフランスを中心に起きたとされるが、実は日本のヌーヴェルヴァーグが“先”だった――。

1960、70年代、日本の映画作家たちは、映画の概念や常識的手法を打ち破り、みずみずしい新しい映画を撮りました。

オリジナルプログラムで貴重なフィルムやゲストトークをお届けする「映画の極意」シリーズ。Vol.14となる今回は、現代においても色あせることのない斬新なインパクトのある、そんな日本ヌーヴェルヴァーグの傑作の中から、貴重な4作品を東京国立近代美術館フィルムセンターから35ミリフィルムでお借りし、上映会とパネルトークを行います。パネルトークでは映画監督の眞田康平、タナダユキ、山本起也らゲストを中心に、今回の映画の極意に協力する地元大学生からシニア世代までの映画愛好家が参加。各日それぞれのテーマで語り合います。映画を切り口に「時代」「社会」「文化」「人々のありよう」を大いに感じ、世代を超えて語る3日間です。

【プログラム】

- 9/14(土) 13:30-「少年」(97分) 監督:大島渚
15:30- パネルトーク ゲスト:眞田康平
9/15(日) 13:00-「心中天網島」(103分) 監督:篠田正浩
15:15- パネルトーク ゲスト:タナダユキ
17:45-「秋津温泉」(112分) 監督:吉田喜重
9/16(月祝) 13:30-「復讐するは我にあり」(140分) 監督:今村昌平
16:15- パネルトーク ゲスト:山本起也

料金=・トーク1回+1回鑑賞券 一般=1,000円/学生=500円

・3日通し券 2,500円(3日間の全プログラムに参加できます)

※半券をお持ちの方は追加500円で別プログラムのトークまたは映画鑑賞券を購入できます。

※友の会会員の方は半券提示でトークまたは映画鑑賞券が1回無料となります。

※入場時、友の会会員証、学生証の提示をお願いします。

チケット取扱=金沢21世紀美術館 ミュージアムショップ TEL 076-236-6072

託児サービス=3歳児以下の入場はご遠慮願います。託児サービスをご利用下さい。

有料・要申込(お問合せ TEL 076-220-2815)

9月の休館日

2日(月) / 9日(月) / 17日(火) / 24日(火) / 30日(月)

本資料に関するお問い合わせ

金沢21世紀美術館

広報担当:落合、中山

〒920-8509 金沢市広坂1-2-1

TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802

<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp

※展覧会・イベントの開催時期や内容等は変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。